

小さな家で豊かに暮らす small is beautiful life

■設計趣旨

お子様とご夫婦の3人家族です。
 今回のテーマは、スペースをコンパクトにすることで、素材にこだわり、居心地の良い空間になるように計画しています。
 開けた南の好条件を生かし、吹き抜けを利用し光・風を充分に取り入れるように計画しました。
 1階の壁・天井には火山灰を原料とした薩摩霧島壁を採用しています。
 また、メインのLDKの南庭に面する窓・玄関戸には木製建具を採用することで、柔らかい雰囲気を出しています。
 間取りは、できるだけ廊下などの無駄なスペースを省きました。水回りは北東にまとめ、階段をダイニングの一部として取り入れました。できるだけ圧迫感がないように吹き抜けのスケルトン階段とし、南吹き抜けに大きな窓を設け1階奥まで光が通るようにしました。

2階は出来るだけコンパクトにし、建具を利用して可変できるようにし、寝室は寝るだけの最省スペースとしています。

■今までは…

これまでの家づくりは
 敷地に目一杯、ローンも目一杯
 上に、横に、懐に、可能な限り。

「敷地に対してどれだけ大きい家が建てれるか」
 そういう家づくりがほとんどだったと思います。

そのため、隣地、部屋間の壁によって光や風を忘れ
 町や社会から緑や自然が少しづつ失われ
 また、ローンにより、毎日の生活が…。

所得が伸びない現代

低コストで高くオリエティな家づくりをするためには、

「小さい家」づくりではないかと思うのです。

ただただ面積を小さくするのではなく、無駄なスペースを省いて、
 効率的に豊かな暮らしをする。
 設計による工夫で、従来よりも贅沢で自然豊かな家づくりを心がけたい
 ものです。

■小さい家のススメ

①質を上げることができるので、いい家づくりができる。

面積の大小は、費用に大きく影響するので、面積を小さくすれば、別のところに費用が使えます。
 構造・断熱を上げることで丈夫で快適な暮らしを実現できます。

②日当たりが良く、風が抜ける家づくりができる。

都会でよくある光景として、敷地が北側の道路一方しか開いておらず、残りの三方は隣の家が境界線にぎりぎりに建っていると、敷地いっぱい家を建てようと思うと、日当たりは、陽がほとんどはらない北側しか期待できません。

結果、その土地はあきらめ、日照条件のよい、南側や東側に開けている土地を探そうとすると、値段が高かったりします。

小さい家にすれば、方角にあわせて家を配置できるため、土地の条件に縛られることなく、日当たりがよい家づくりができます。

③冷暖房効率がいいので、光熱費が安い

面積が小さいので当然冷暖房に使うエネルギーは少なくて済みます。

従来のように部屋ごとに暖めたり、冷やしたりすると、結露の原因及びヒートショックにもなります。家をできるだけ間仕切りせずオープンとし、空気を循環させ家全体を同じ温度とすることで、家にとっても人にとっても快適になります。

④空間利用率が高い

部屋に行くための廊下や客間、予備部屋などの利用頻度が少ない部屋を省くことで、すべての空間を効率よく使える。
 部屋が小さくても、部屋の外に庭があったり、天井が吹き抜けていたりすると、部屋の圧迫感を感じません。

また、子供が巣立った後も無駄なく利用できる。

⑤庭やアプローチを余裕をもって造ることができ、緑豊かな自然を感じながら生活できる。

自分の家で自然を感じながら生活できるのは、非常に贅沢な話です。

庭に咲く四季折々の花を眺めながらの食事や、会話に癒されませんか？

居心地のいい空間は、部屋の広さや機器などの利便性が解決してくれるわけではなく、やはり自然を感じる事だと思うのです。

土のある暮らしは、癒してくれるだけでなく、夏の日差しを和らげてくれたり、隣地とのプライバシーを緩和してくれます。

⑥掃除が楽

掃除するスペースを少ないので、掃除が楽。
 のちの建物のメンテナンスも少なくできる。
 多忙なあなたに掃除が楽というのは魅力。

⑦無駄なものを置かなくなる

